

Solidcom C1-HUB8S

取扱説明書

V1.0.0

日本正規代理店・日本語取扱説明書製作

(株) スタジオ イクイブメント

〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-2-10

TEL: 03-3795-3111 FAX: 03-3795-3353

<https://www.studioequipment.co.jp/>

はじめに	2
梱包内容	3
Solidcom C1-HUB8S 梱包内容.....	3
機器接続	4
A HUBベース インターフェース.....	4
B ヘッドセット	5
C 充電器.....	6
クイックスタートガイド.....	7
HUBベースのセットアップ	7
HUBベースの起動	7
ヘッドセットバッテリーの装着	8
ヘッドセットの起動	8
マイクのミュート/ミュート解除.....	9
HUBベースのディスプレイ表示.....	10
ヘッドセット ステータス表示	11
HUBベースとヘッドセットのペアリング	11
ペアリング手順	11
ヘッドセットの番号付け	12
HUBベース同士のカスケード接続	12
4Wire接続を利用したHUBベースの2台接続	12
4Wireの設定	13
HUBのディスプレイ表示.....	13
IPデジタル信号接続による2台のシステムのカスケード接続	13
HUBベースの設定	14
HUBディスプレイ表示	14
IPデジタル信号接続による3台のシステムのカスケード接続	14
グループ設定	15
HUBベースのグループ設定の確認	15
グループ設定の方法	15
ヘッドセットのA&Bグループボタン	17
仕様.....	18
サポート	19
安全上のご注意	19
FCC要求事項.....	20

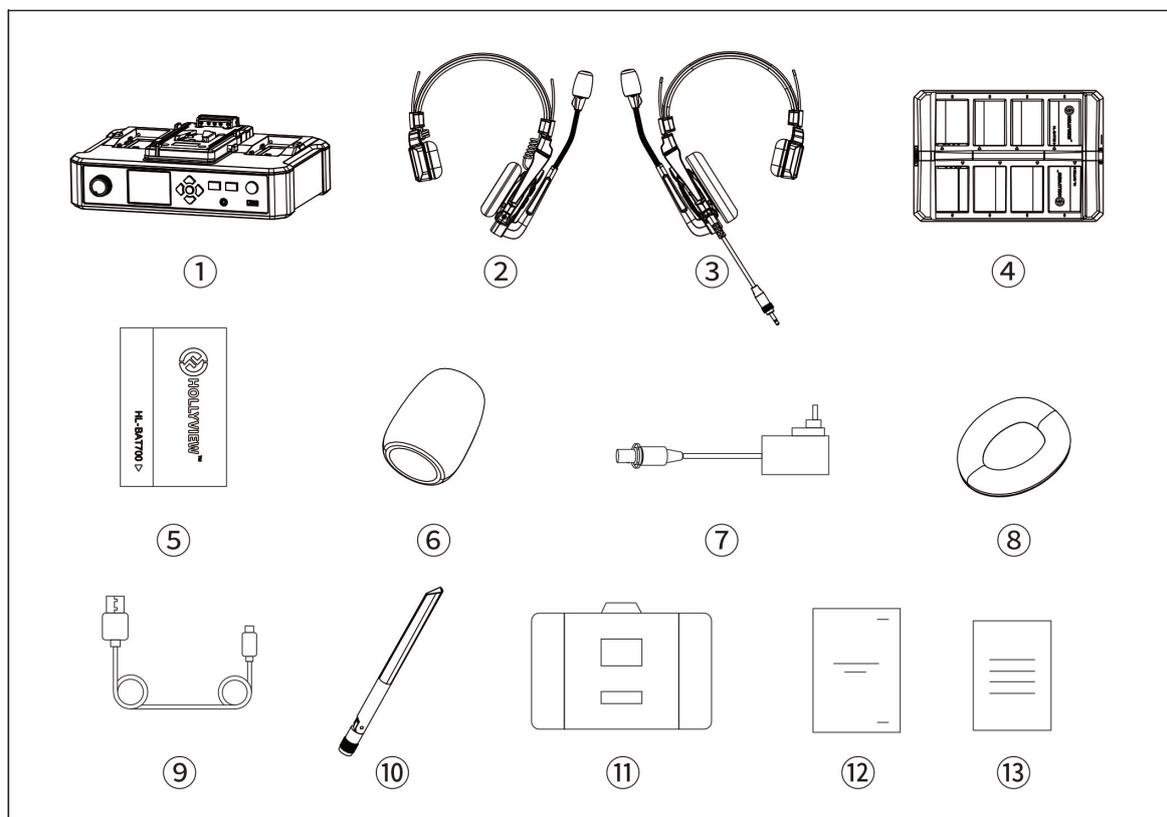
はじめに

HOLLYLAND（ホリランド）フルデュプレックス ワイヤレスインターカムシステムを購入頂きありがとうございます。

Solidcom C1-HUB8Sには、8個の片耳リモートワイヤレスヘッドセット、16個（予備含む）の充電式バッテリー、充電器、HUBベース、HUBベース接続用 有線ヘッドセット、および付属品が含まれています。

このシステムは1.9 GHz帯で動作し、ベルトパック不要のワイヤレス設計で、クリアな音声、一日中装着しても快適な使用感を提供するために設計されたDECTワイヤレスインターカムシステムです。使用する前に、この取扱説明書を注意深くお読みください。快適な体験となることを願っています。

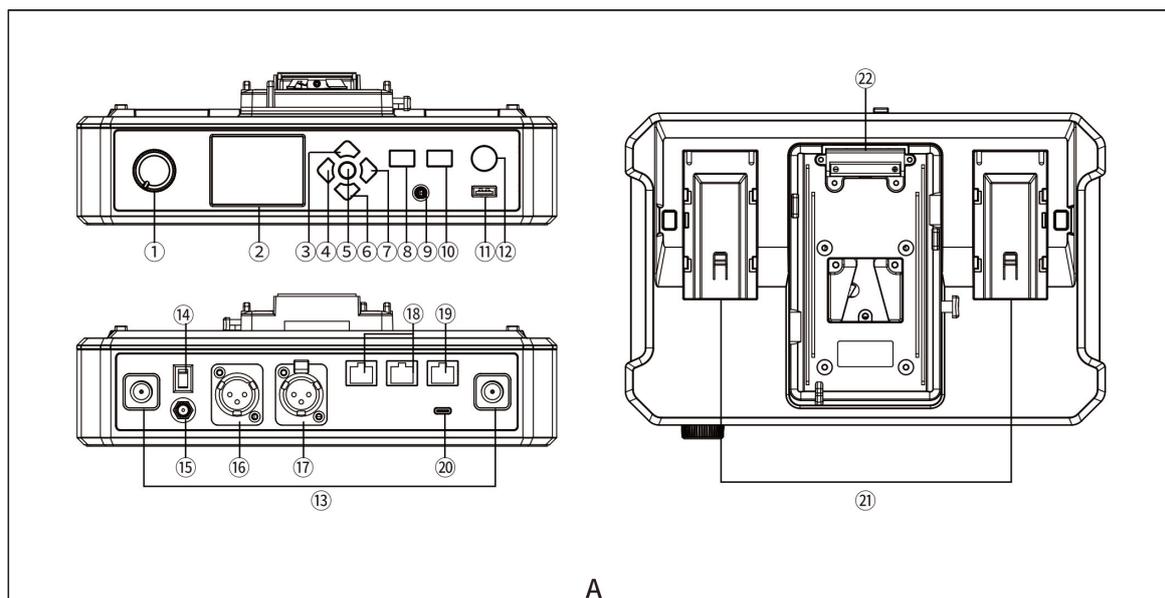
梱包内容



■ Solidcom C1-HUB8S 梱包内容

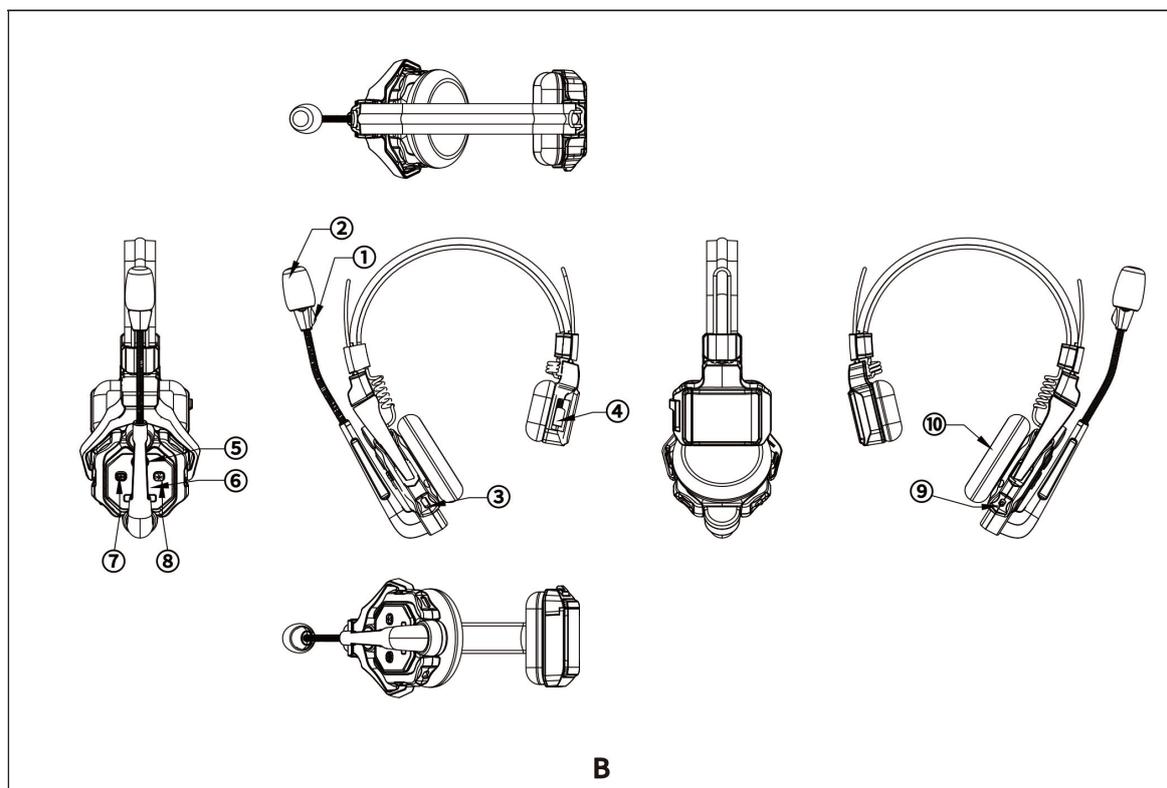
① HUBベース	x 1
② リモートヘッドセット（青色のネームプレート）	x 8
③ HUBベース接続用 有線ヘッドセット（赤色のネームプレート）	x 1
④ 充電器	x 1
⑤ バッテリー	x 16
⑥ マイク風防（交換用）	x 9
⑦ 12V/2A DCアダプター	x 2
⑧ オーバーイヤークッション	x 9
⑨ USBケーブル (Type-A to C)	x 1
⑩ 高利得アンテナ	x 4
⑪ ケース	x 1
⑫ クイックガイド	x 1
⑬ 保証書	x 1

* 正確な数量は、製品の構成によって異なる場合があります。表示数量は、標準的なものとしてお考えください。



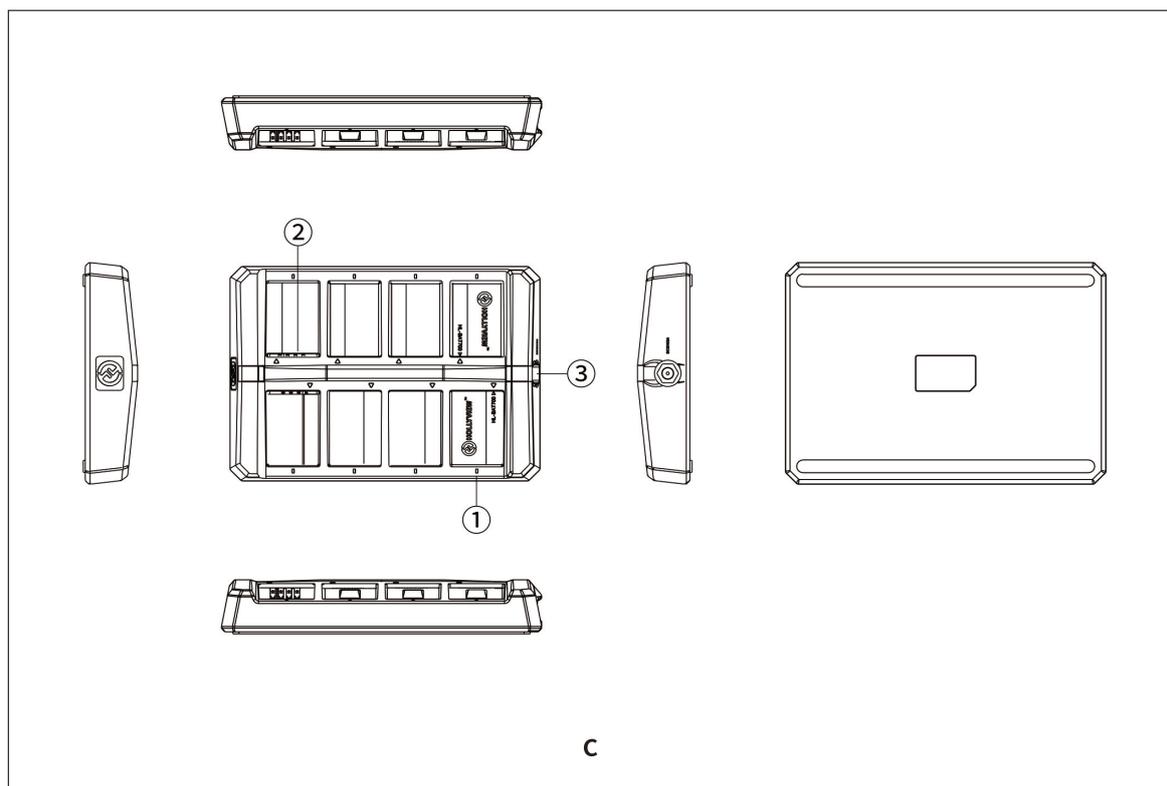
■ A HUBベース インターフェース

- ① 有線ヘッドセット ボリュームノブ
- ② ディスプレイ
- ③ 上キー
- ④ 左キー
- ⑤ メニュー/決定ボタン
ボタン長押しでメインメニュー表示
- ⑥ 下キー
- ⑦ 右キー
- ⑧ 有線ヘッドセット用 Aグループ選択ボタン
グループ選択時にLEDが点灯します
- ⑨ 3.5 mmヘッドセット用ジャック
- ⑩ 有線ヘッドセット用 Bグループ選択ボタン
グループ選択時にLEDが点灯します
- ⑪ ヘッドセットペアリング/本体アップデート
用ポート (USB Type-C)
- ⑫ アナウンスボタン
アナウンスが必要なときにこのボタンを押し続けてトーク (アナウンス) します。
このボタンが押されている間は全てのヘッドセット間のトークがミュートされ、アナウンスの音声のみがヘッドセットに送信されます
- ⑬ アンテナ取付コネクタ
- ⑭ 電源スイッチ
- ⑮ 電源コネクタ
- ⑯ PGM 音声入力コネクタ
- ⑰ 2Wire 接続ポート
- ⑱ RJ45 ネットワークポート
- ⑲ 4Wire 接続ポート (RJ45)
- ⑳ UAC インターフェース (USB Type-C)
- ㉑ NP-F バッテリーベイ
- ㉒ Vマウント/Gマウント バッテリーベイ



■ **B ヘッドセット**

- ① 電源/ペアリング確認インジケータ
- ② マイク
- ③ ペアリング/ファームウェアアップデート用ポート (USB Type-C)
- ④ バッテリー部
- ⑤ ボリューム+ ボタン
- ⑥ ボリューム- ボタン
- ⑦ Aグループ選択ボタン
5秒長押しでペアリング (HUBなしセット付属のマスターヘッドセットのみの操作)
- ⑧ Bグループ選択ボタン
(Bグループに参加している場合にLED点灯、Bグループから外れているときは消灯)
- ⑨ 電源ボタン
- ⑩ スピーカー



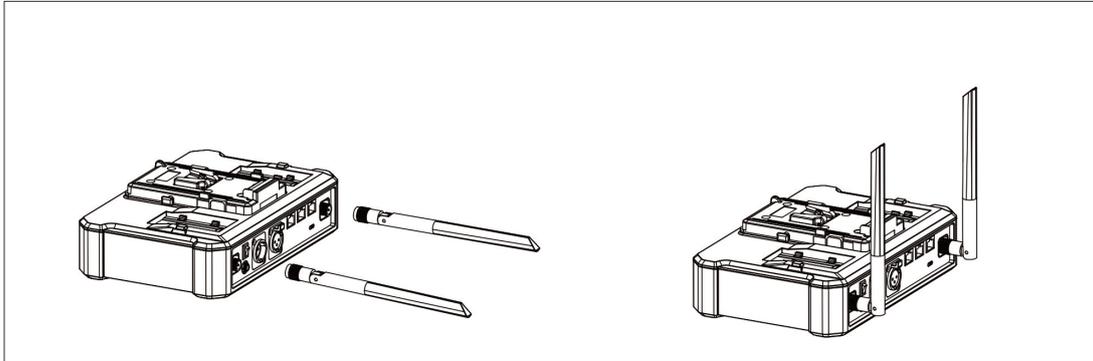
■ C 充電器

- ① 状態表示インジケータ
 オレンジ：充電中
 緑：充電完了
- ② 充電端子
- ③ 電源コネクタ

クイックスタートガイド

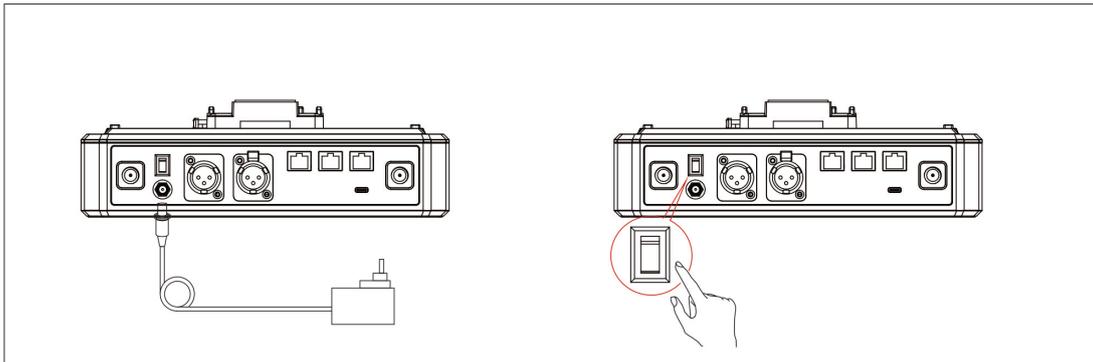
■ HUBベースのセットアップ

アンテナの取付け



■ HUBベースの起動

12V/2A DCアダプターを接続し、電源スイッチをONにします。

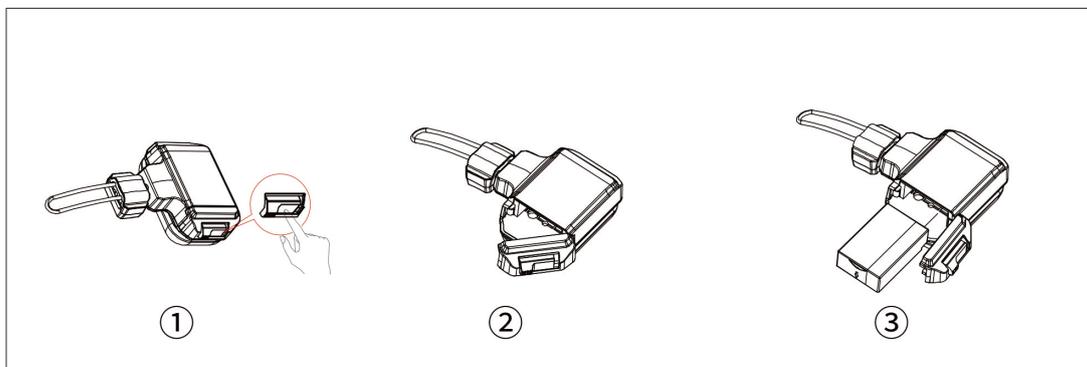


追記：HUBベースはNP-Fバッテリー、Vマウント/Gマウント バッテリーを使用することもできます。

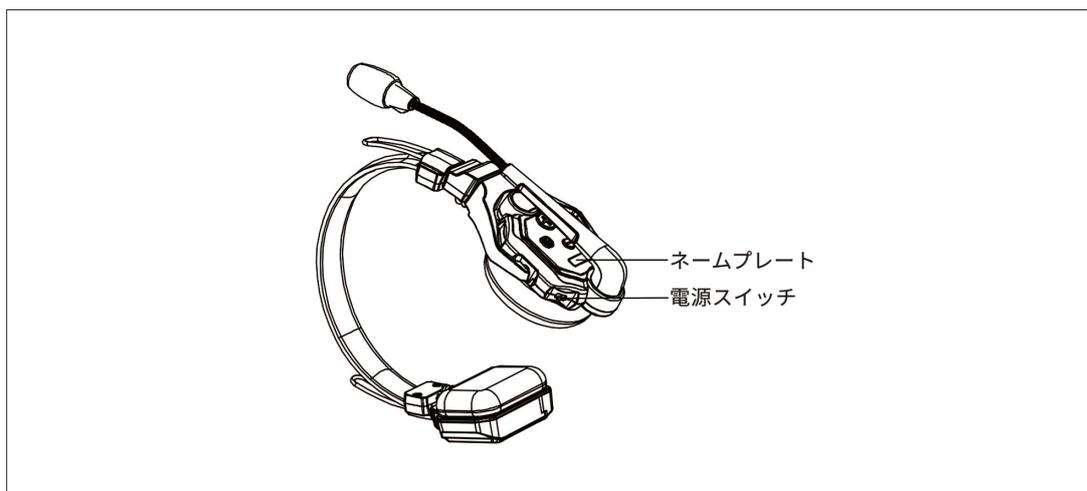
クイックスタートガイド

■ ヘッドセットバッテリーの装着

1. バッテリーカバーのロックをスライドさせます。
2. バッテリーカバーを開けます。
3. バッテリーを挿入し、カバーを閉じます。



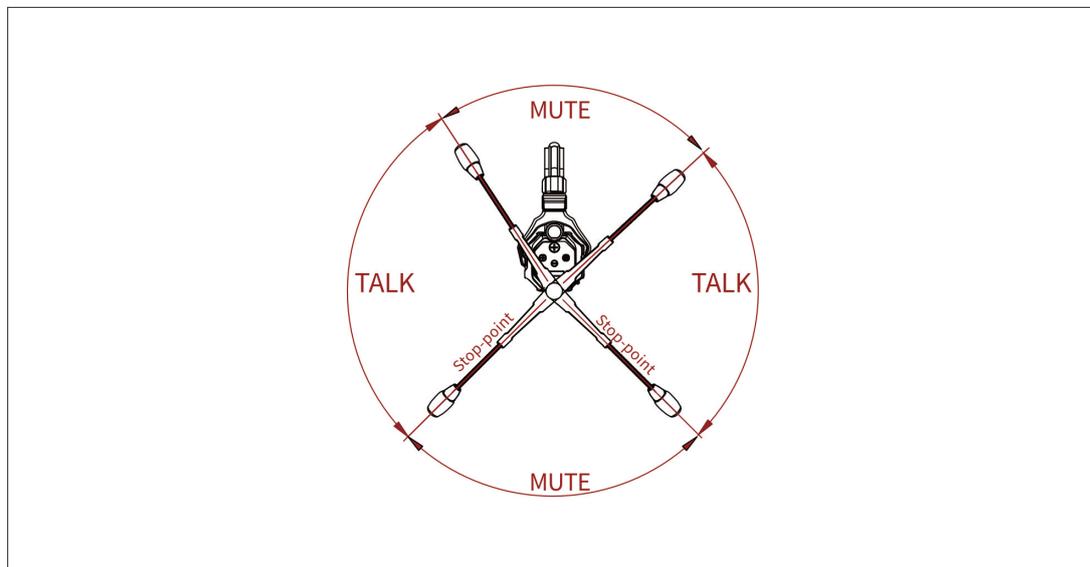
■ ヘッドセットの起動



追記：リモートヘッドセットがHUBベースとの接続を完了すると、インジケータライトが点滅から緑の点灯に変わります。

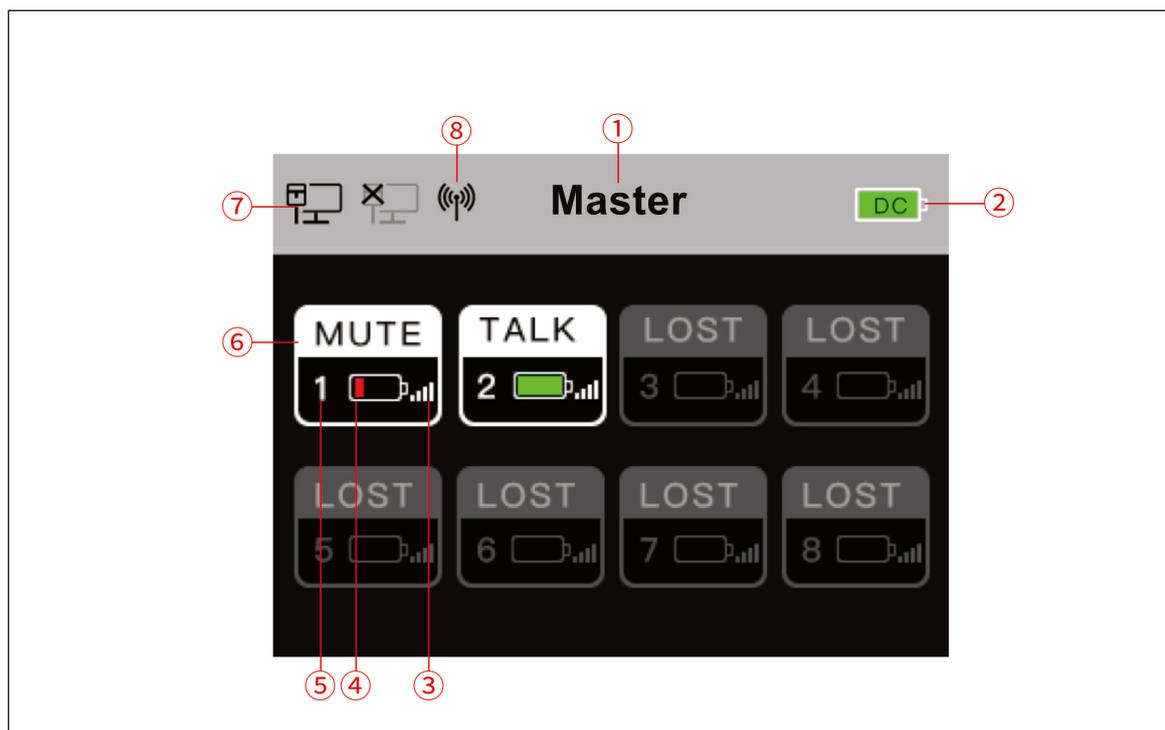
■ マイクのミュート/ミュート解除

マイクブームを上下することで、マイクのミュート/ミュート解除をおこないます。



1. マイクブームをミュートされる位置まで跳ね上げると、クリック音がしてマイクがミュートされます。
HUBベースのディスプレイには、対応するヘッドセットのステータスが「MUTE」と表示されます。
2. マイクブームをトークできる位置まで下げると、クリック音がしてトークが可能になります。
HUBベースのディスプレイには、対応するヘッドセットのステータスが「TALK」と表示されます。

ヘッドセットを使用する準備ができました。



■ HUBベースのディスプレイ表示

- ① Master/Remote の表示
- ② バッテリー使用時の残量表示
- ③ ヘッドセットの信号強度
- ④ ヘッドセットバッテリーの残量表示
(残りわずかになると赤く点灯)
- ⑤ ヘッドセット番号
- ⑥ ヘッドセットのステータス表示
TALK：トーク/リッスンともに可能
MUTE：マイクミュート/リッスンオンリー
LOST：ヘッドセットがHUBベースに未接続
- ⑦ ネットワークステータス表示
- ⑧ Wi-Fiステータス表示

■ ヘッドセット ステータス表示



- ① 緑点滅：HUBベースに未接続、通信不可
- ② 緑点灯：HUBベースに接続中、通信可能
- ③ 赤点滅：バッテリー残量警告、バッテリーを交換してください

■ HUBベースとヘッドセットのペアリング

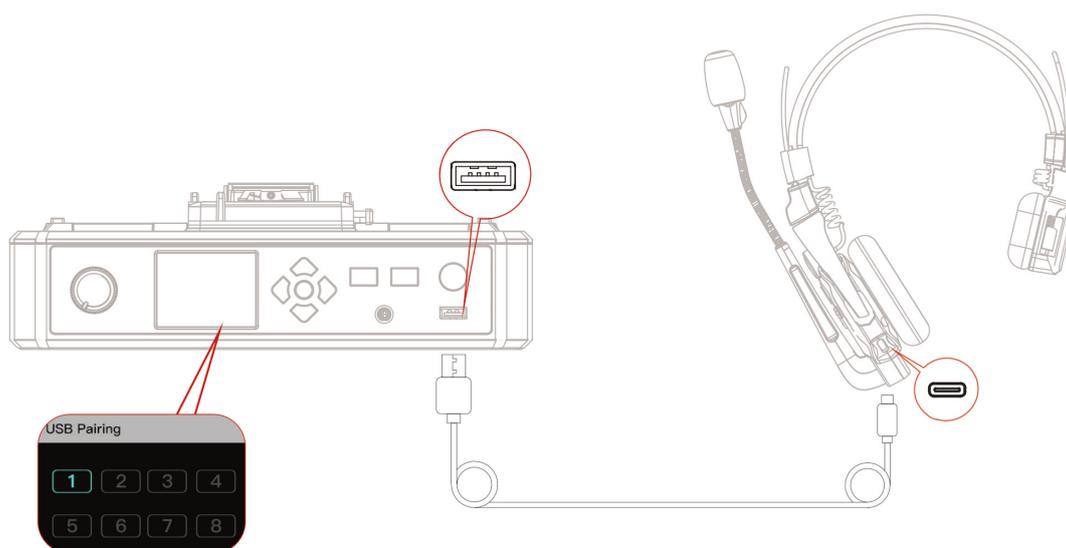
HUBベースとリモートヘッドセットは出荷時にペアリングが完了しており、箱から出してすぐに通信がおこなえるようになっています。

手動でのペアリングは、ヘッドセットやHUBベースをシステムに追加・変更する必要がある場合に必要です。

■ ペアリング手順

HUBベースのフロントパネル部にあるUSBポートと、ヘッドセットのUSB-Cポートを付属のUSBケーブルで接続します。

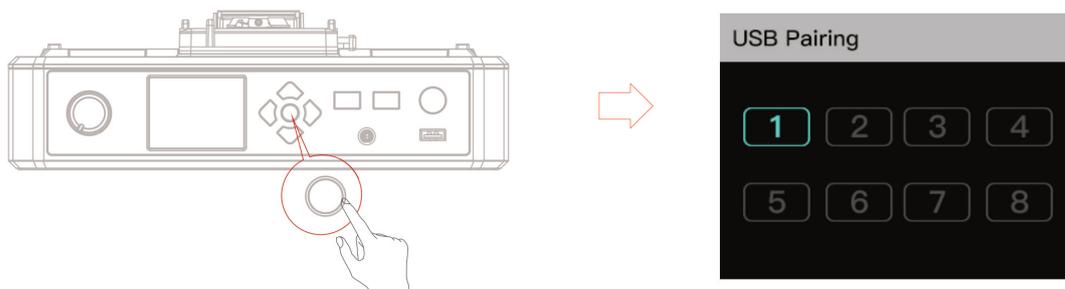
HUBベースのディスプレイ上に、ヘッドセット番号を選択する画面が表示されます。任意のヘッドセット番号を選び、メニュー/決定ボタンで決定し、ペアリングと番号付けの設定を終了します。



クイックスタートガイド

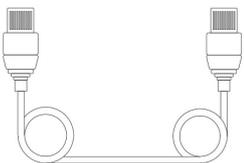
■ ヘッドセットの番号付け

ヘッドセットを再ペアリングして番号を付けるときは、必ずすべてのヘッドセットの電源を入れ、番号が重複しないようにしてください。他のヘッドセットとの接続に失敗する可能性があります。ヘッドセットの番号付けを間違えた場合は、USBケーブルでHUBに接続し、再度ペアリングと番号付けの操作をおこなってください。



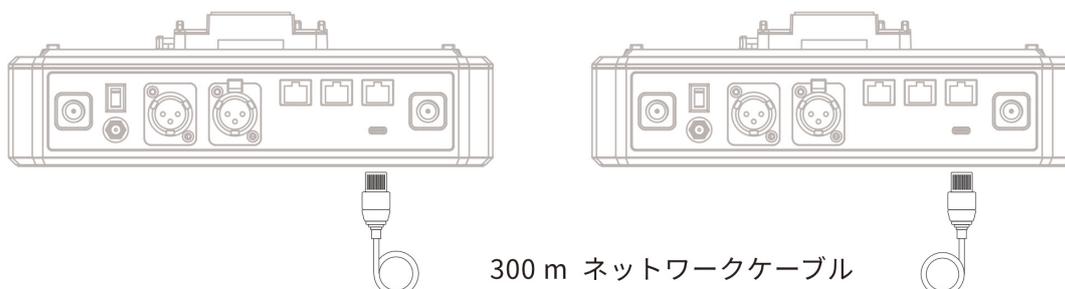
■ HUBベース同士のカスケード接続

HUBベース同士を何台か接続することで、ヘッドセットの同時通信台数を増やすことができます。カスケードする方法は、4Wireアナログ接続とIPデジタル信号接続の2パターンあります。HUBベースを2台接続する場合は、両パターンの接続が可能です。3台以上を接続する場合は、IPデジタル信号接続をおこなうようにしてください。

	推奨ケーブル	ケーブル最大長
	CAT 5e CAT 6e	300 m

■ 4Wire接続を利用したHUBベースの2台接続

標準的なLANケーブルを使用し、HUBベースの4Wireポートを介して2台のシステムを接続します。LANケーブルは条件によっては300 mまで延長可能です。

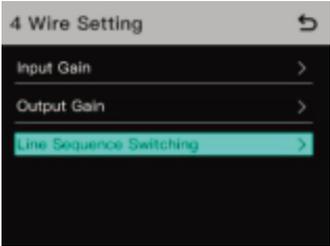
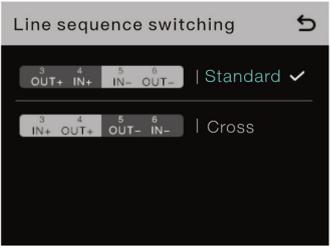
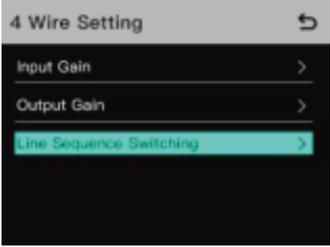
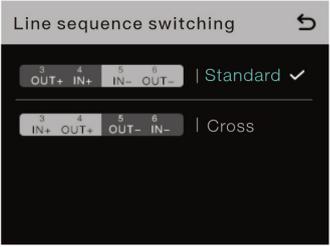


■ 4Wireの設定

2台のシステムの4WireポートをLANケーブルで接続した後、それぞれのメニュー画面から「4Wire Settings」に入り、「Line sequence switching」を選択することで、それぞれのHUBベースに接続するLANケーブルのピン配列設定をおこないます。

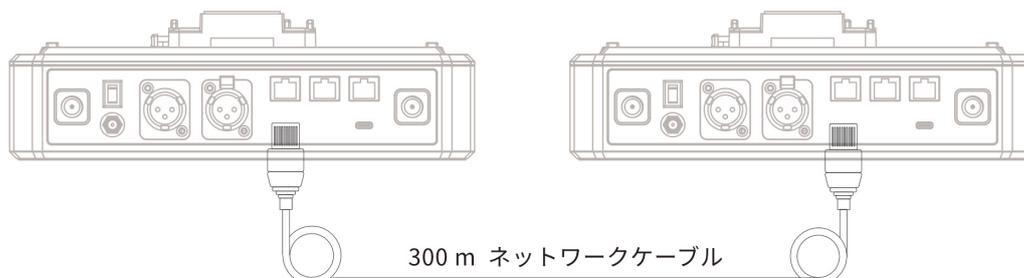
1台目のHUBベースを「Standard mode」、2台目のHUBベースを「Cross mode」に設定します。

■ HUBのディスプレイ表示

HUB 1	「4Wire」メニューに入り	「Line sequence switching」を選択し、「Standard mode」に設定します
4 Wire 設定		
HUB 2	「4Wire」メニューに入り	「Line sequence switching」を選択し、「Cross mode」に設定します
4 Wire 設定		

■ IPデジタル信号接続による2台のシステムのカスケード接続

標準的なLANケーブルを使用し、RJ45ネットワークポートを介して2台のシステムを接続します。HUBベースには2つのRJ45ポートが備えられていますが、どちらに接続しても構いません。LANケーブルは条件によっては300 mまで延長可能です。

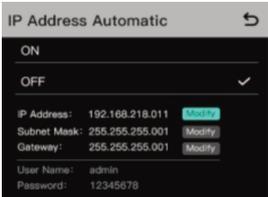
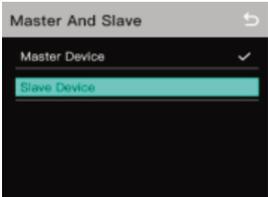
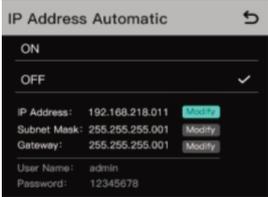
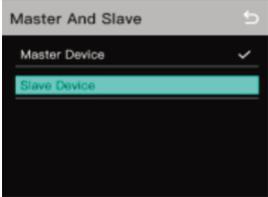


■ HUBベースの設定

2台のシステムをLANケーブルで接続した後、それぞれのHUBベースの基本設定をMaster DeviceまたはRemote Deviceとして設定します。一般的には、最初のシステムをMaster Deviceとして設定し、2台目のシステムをRemote Deviceとして使用します。

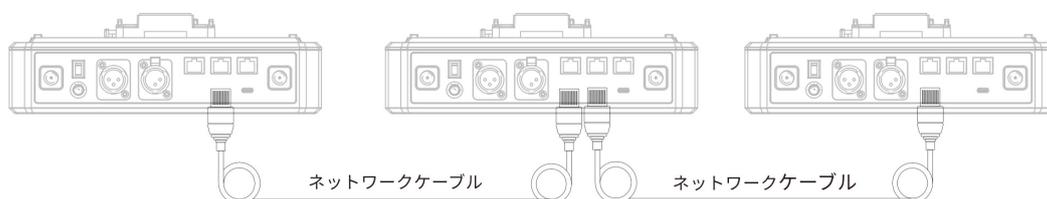
この場合、両方のHUBベースの「Network」設定で「Obtain IP address automatically (IPアドレスを自動的に取得する)」をOFFにする必要があります。

■ HUBディスプレイ表示

HUB 1	「Network」メニューに入り、「Obtain IP address automatically (IPアドレスを自動的に取得する)」をOFFに設定します	「Master And Slave (Remote)」メニューに入り、「Master Device」を選択します
ネットワーク設定		
HUB 2	「Network」メニューに入り、「Obtain IP address automatically」をOFFに設定します	「Master And Slave (Remote)」メニューに入り、「Slave Device」を選択します
ネットワーク設定		
	「Scan」をタップして入力します。画面にマスターデバイスのIPアドレスが表示されます。矢印キーを使ってIPアドレスを設定し、「Confirm」を押します	

■ IPデジタル信号接続による3台のシステムのカスケード接続

3台のシステムをカスケードする場合、IPデジタル信号接続が推奨されます。最初のシステムのHUBベースをMaster Deviceとして設定し、2・3台目をSlave Deviceとして設定します。



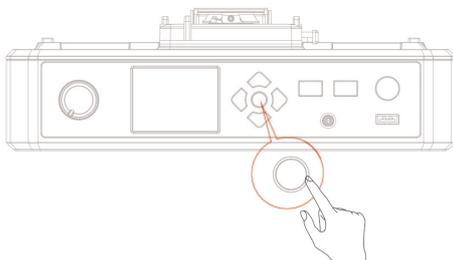
■ グループ設定

HUBベースは、AおよびBの2グループ設定に対応しています。

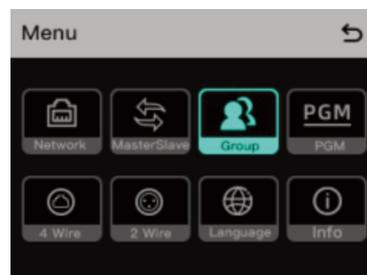
HUBベースのグループメニューに入ると、システムの現在のグループ設定を見ることができます。グループ設定を操作するには、PCとHUBベースをRJ45インターフェースを介してLANケーブルで接続し、「Group」メニューに入ります。または、スマートフォンやノートPCからWi-Fiを介してワイヤレスでHUBベースに接続し、「Group」メニューにアクセスします。

■ HUBベースのグループ設定の確認

確認する方法：



メニュー/確認ボタンを長押しして



グループ設定メニューに入ります

■ グループ設定の方法

グループ設定をおこなうには、Wi-Fiを利用しておこなう方法と、LANケーブルを介して有線でおこなう方法があります。

- Wi-Fiを利用してワイヤレスでグループ設定をおこなう方法

HUBベースの「Menu」から「Network」を選択し、「WIFI Setting」をONにします。

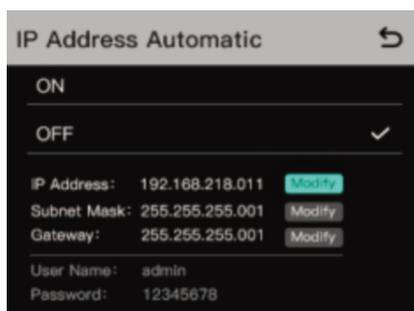
PCやスマートフォンなどのWi-Fi設定でHUBベースに表示されているSSIDを選択して、パスワード（初期設定：12345678）を入力し、HUBベースのネットワークに接続します。

接続が完了したらブラウザを立ち上げ、アドレスバーにHUBベースのIPアドレス（初期設定：192.168.218.10）を入力し、設定画面に入ります。

クイックスタートガイド

- HUBベースとPCを有線接続しておこなう方法

HUBベースの「Network」メニューに入り、「IP Address Automatic（有線ネットワーク設定）」を選択すると、HUBベースのデフォルトのIPアドレス、ユーザー名、パスワードが表示されます。



LANケーブルを使用して、RJ45 ネットワークポートを介してPCとHUBベースを接続します。

IPアドレスを手動で 192.168.218.XX に設定します。

XXはC1本体のアドレスと同じにならないよう、10や11以外の任意の数字を入力してください。

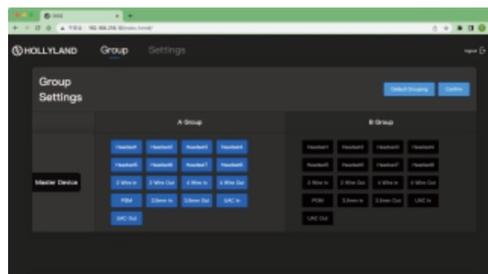
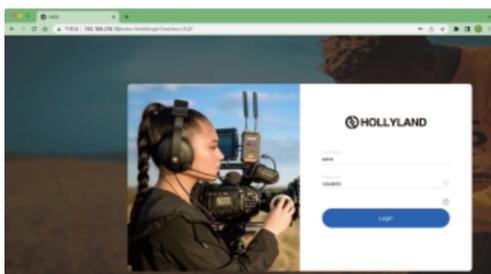


PCのブラウザを開き、<http://192.168.218.10> で検索すると、HUBベースの設定ページに入ります。

ユーザー名とパスワードを以下の通りに入力します。

Username : admin

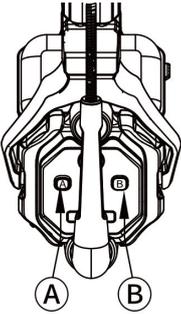
Password : 12345678



■ ヘッドセットのA&Bグループボタン

グループ設定でAグループとBグループをアサインすると、対応するヘッドセットのAボタンとBボタンが点灯します。ボタンの点灯状態は、ヘッドセットがどちらのグループに参加したかを示しています。

ヘッドセットのAボタンまたはBボタンを押して、対応するグループに参加します。

	<p>AおよびBボタンの点灯状態</p>	<p>Status</p>
<p>ライトON</p>	<p>AまたはBボタンが点灯すると、ヘッドセットが対応するグループに入り、同じグループの他のヘッドセットと会話することができます。</p>	
<p>ライトOFF</p>	<p>AまたはBボタンが消灯すると、ヘッドセットが対応するグループから抜けたことを示します。</p>	

Solidcom C1-HUB8S 機器仕様	
範囲	見通し約350 m (条件による)
周波数情報	周波数帯：1.9 GHz DECT (国や地域によって異なります) 変調モード：GFSK 送信電力：<21 dBm (125.9 mW) (国や地域によって異なります) 受信感度：<-90 dBm
伝送遅延	<35 ms
バッテリー容量	700 mAh (2.66 Wh) リチウムイオンバッテリー
ヘッドセット駆動時間	リモートヘッドセット：約10 h
充電時間	約2.5 h
周波数特性	150 Hz ~ 7 kHz
SN比	>55 dB
歪み	<1%
マイクロホンの種類	エレクトレット
最大入力音圧レベル	>115 dB SPL
出力音圧レベル	標準 98 ±3 dB SPL (94 dB SPL 1 kHz時)
HUBベース正味重量	約1300 g (アンテナ除く)
正味重量	約170 g (電池含む)
温度範囲	動作時：0 ~ +45°C 保存時：-20 ~ +60°C

追記：周波数帯と送信電力は、国や地域によって異なります。

■ 安全上のご注意

ヘッドセットを加熱装置（電子レンジ、オーブン、IHクッカー、電気オーブン、電気ヒーター、圧力鍋、湯沸かし器、ガスストーブに限らず）の近くや中に置かないでください。電池の過熱や破裂のおそれがあります。

本製品に純正品以外の充電ケース、ケーブル、バッテリーを使用しないでください。

純正品以外のスペアパーツを使用すると、感電、火災、爆発などの危険性があります。

本書に記載されているすべての表明、情報、推奨は、明示または黙示を問わず、保証を行うものではありません。

注意事項：

製品のバージョンアップやその他の理由により、本クイックガイドは随時更新されます。別段の合意がない限り、本書は使用のためのガイドとしてのみ提供されます。本書に記載されているすべての表現、情報、推奨事項は、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証も行うものではありません。

■ FCC 要求事項

コンプライアンスに責任を持つ当事者によって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作する権限を無効にする可能性があります。このデバイスは、FCC規則のPart 15に準拠しています。操作は、次の2つの条件に従ってください：

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こさないようにすること
2. このデバイスが干渉を受け、望ましくない動作を引き起こす可能性があること

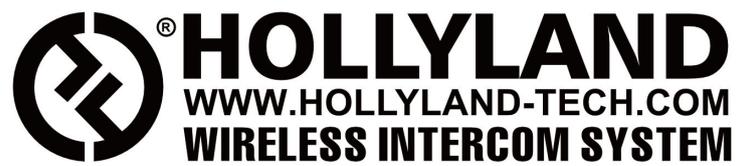
FCC規格に基づく、放射線放出に関する声明：

このデバイスは検査を受けており、FCC SAR制限に準拠しています。

注：本装置は、FCC規則第15条に基づくクラスBデジタルデバイスの制限に適合することが試験により確認されています。これらの制限は、住宅での設置において有害な干渉から合理的な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置場所において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、それは装置の電源を切ったり入れたりすることで判断できますが、ユーザーは1つまたは複数の方法で干渉を修正することを試みることを推奨されます。

以下のような施策があります：

- 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変える
- 機器と受信機を遠ざけて設置する
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する
- 販売店またはラジオ/テレビ技術者に相談する



 Hollyland Products User Group

 HollylandTech

 HollylandTech

 support@hollyland-tech.com

 www.hollyland-tech.com

SHENZHEN HOLLYLAND TECHNOLOGY CO., LTD

8F, 5D Building, Skyworth Innovation Valley, Tangtou, Shiyan, Baoan District Shenzhen, China.